



伊勢

伊勢路を振り返って

温かい声援



会長 河野昭郎さん

君が代踊が、中国地区代表として選ばれ、大会に出演できたことは大変光栄なことでした。全国7ブロックの代表が、それぞれ特色ある民謡踊や太鼓等を披露し、伊勢市民の温かい声援と拍手を受け、感激しました。荘厳な外宮・内宮での緊張感、2千人満席の観光文化会館での公演は格別なものでした。全国各地の保存会のみなさんとの交流も十分できました。3日間の思い出を胸に秘め、はやまる鼓動を押さえつつ、帰路につきました。これを機によりいっそう君が代踊を大切にしたい。

一生の思い出



岡藤竹代さん

14日早朝出発、夕方盛大な歓迎、ブロック交歓会に出席。一夜明けた15日午前中、外宮奉納舞台で奉納、午後内宮特別参拝。そこでは神楽奉納があり、巫女の鈴の音、笛の音にあわせた男の舞はとても優雅で、感銘を受けました。

その後、内宮奉納舞台で奉納しましたが、緊張の連続でした。夜の観光文化会館での公演では、約2千人の観衆の前で、堂々と踊ることが出来たように思います。2日間、5回の公演は一生忘れることができない思い出となることでしょう。



準備は入念に

添え花が揺れる

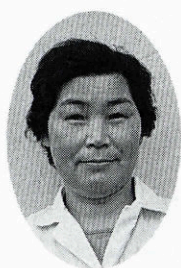


池田広子さん

身を清めて(外宮)

「一生に一度は伊勢参りに」と昔からよく言われていますが、今度、このような機会を作っていただき、感謝しております。2日間、5回の公演はきついものでしたが、それ以上で構えている舞台上での緊張感、腰にさした添え花が、胸の高鳴りで揺れているのが自分でもわかるぐらいでした。終わってみれば、全会員無事に帰れたことを嬉しく思います。これからも、踊りを大切にしていきたいものです。市当局、地区の皆さん、ありがとうございました。

家族に感謝



山根静子さん



君が代踊の皆さん(内宮)

君が代踊奉納の旅を終えて、翌日職場へ行くと、皆が羨望の眼差しで喜んでくださいました。3日間、保存会の皆さん、特に先輩の方々と一緒に寝起きができ、立派に公演ができたことが、何よりも嬉しく思います。伊勢参り、踊の奉納と私にとっでは、思ってもみなかったことが実現したのも、関係者のご配慮は申すに及ばず、家に残した父と主人の理解と協力があつたからだと思えます。初日バスからおりて、外宮の参道に立った時感激がこみ上げてきました。

君が代踊は伊勢神宮奉納にふさわしい踊りでした。常に緊張と不安が続いたハードスケジュールの中、各舞台で100%以上の踊りをされた「君が代踊保存会」の皆さんお疲れさまでした。